



大学生が将来のために 「財政」、「金融」について考える

～in 琉球大学・沖縄国際大学～

財務部では、学生や子育て世代をはじめ、全ての世代の皆さまが安心して豊かな暮らしを実現できるよう、財政・経済・金融について学べる出前講座を実施しています。

本ページでは、令和7年11月28日に琉球大学(受講者数・約120名)、12月12日に沖縄国際大学(受講者数・約130名)で行った財政・金融の講義についてご紹介いたします。

1. 財政講義

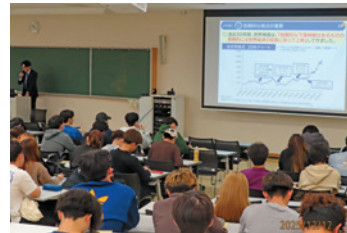
講義の冒頭では当部の業務内容に加え、講師が財務本省や金融庁で携わった業務紹介を通じ、沖縄以外でも幅広い活躍の場がある事を紹介しました。

続いて「これからの日本のために財政を考える」と題して、2025年度の予算を例にして、「一般会計の歳入・歳出構造を説明しました。特に、30年前と比べ社会保障費が大きく増加し、歳出の約1/3を占めるに至った要因や、税収不足を補うため国債発行が増加している現状を解説しました。

さらに、社会保障の取扱いが異なるアメリカとフランスの様子について寸劇を交えて紹介し、日本の社会保障を諸外国と比較すると、「給付」に対して「負担」が相対的に低い状況にあることを説明し、今後、社会全体で議論を深める必要性を学生へ伝えました。

また、当部が財政融資資金を貸付している地方公共団体に対し、貸し手の

立場から財政健全性を点検する「財務状況把握」についても説明し、普段知る機会のない県内自治体の財政状況についても事例を示し、説明しました。



若手職員による金融広報講義の様子(沖縄国際大学)



財政講義の様子(琉球大学)

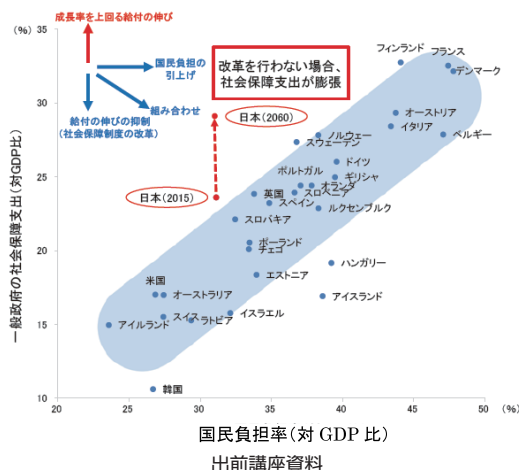
2. 金融講義

続いて金融の講義では、資産形成の基本である「長期・積立・分散」の考え方を、預貯金や投資の違いとともに分かりやすく紹介し、併せて、投資詐欺や多重債務、闇バイトなど、身近な金融トラブルへの注意点を解説しました。

3. 受講後アンケートより

受講後のアンケートでは、
・高齢化により社会保障費が増加し、その負担を現役世代が支えている事を知り、財政の問題が自分達の将来に深く関わっている事を実感した。
・1129兆円の借金の返済には、GDPを伸ばす事も大切だと感じた。

8. OECD諸国における社会保障支出と国民負担率の関係



・財務状況の把握について、現地ヒアリングを実施し、その効果を分析し確認していることを知り、しっかり仕事しているなと感じた。
・お金を増やすには、貯蓄や投資等があるが、投資は貯蓄に比べリターンも高いが、その分リスクもある事が理解できた。
・など様々な意見が寄せられました。
・当部では、教育機関と連携し、若年層に向けた出前講座を実施していく予定です。出前授業については、左記のお問合せ先までご連絡ください。

お問合せ先
財務部 財務課(地域連携担当)
2098-1866-0091